

「第4次四街道市生涯学習推進計画（案）」に係る意見提出手続きにおける
意見の概要と市の考え方

令和6年1月16日（火）から令和6年2月15日（木）までの間、「第4次四街道市生涯学習推進計画（案）」に係る意見提出手続きを行ったところ、以下のとおり意見提出がありました。

意見に対する市の考え方をまとめましたので、意見の概要と合わせて公表します。

- 意見提出者
1人
- 意見数
7件
- 「第4次四街道市生涯学習推進計画」以外の質問・意見・要望
0件

表中の「市の考え方」の区分

○：意見の全部又は一部を計画の修正に反映したもの	7件中	2件
△：すでに計画に反映されているもの	7件中	2件
□：意見を計画の修正に反映しなかったもの	7件中	3件

I. 第4次生涯学習推進計画（案）への意見 7件

No.	意見の概要	市の考え方	区分
1	<p>第1章 4 生涯学習を取り巻く状況の（1）に次に（2）として以下を追加し、市民に第4次計画を策定した考えが分かるようにしていただきたい。</p> <p>（2）第4次計画を検討するに当たっての視点</p> <p>①第3次計画の課題への対応…第3次計画で述べている課題についての評価</p> <p>②第3次計画を継承する点…第4次計画では、第3次計画のどんな点を継承していくのか</p> <p>③新たな点…第3次計画からの社会の変化などを踏まえ、新しい点について言及する</p>	<p>（2）の視点について、</p> <p>①につきましては、第3次生涯学習推進計画での現状と課題として、第3章で記載し、具体的な取組を記載しています。</p> <p>②につきましては、9ページの「計画の目指す方向」を第3次生涯学習推進計画から継承しました。</p> <p>③につきましては、新たな視点として、7ページの（2）で記載しています。</p>	△

No.	意見の概要	市の考え方	区分
2	<p>目指す方向3 学びでつながる地域づくりの項目の、2、市民参画・協働の指標値のうちコラボ四街道採択事業数は現状値が3事業、指標値を増加としている。</p> <p>①3事業は単年度採択数と思われるが、事業成果を1年毎に求めるのではなく、最終年度に向かって各年の成果や課題を分析しつつ最終年度での指標値を達成できるようにPDCAを回していけばいい。</p> <p>②総合計画では現状累計値で18件、目標値を40件としており、総合計画と生涯学習推進計画と同じ事業において整合が取れていない。異なる目標を2つの計画で持つべきではないと考える。</p> <p>総合計画に合わせ累計値としたほうが適切である。</p>	<p>本計画では、生涯学習の推進という観点から、総合計画と趣旨の違いにより、指標が異なっています。</p> <p>コラボ四街道事業では、学びによる成果を主眼におき、市民参画・協働につなげたいと考えています。そのため、総合計画で示した累積値ではなく、増加を指標として設定しました。</p> <p>なお、成果指標の設定年度については、令和6年4月からの計画では、令和5年度の実績を反映することができないため、直近の実績として令和4年度のもを現状値とし、次期計画の策定年である令和10年では、直近の実績である令和9年度末を指標値としているため、累積値でなく原案のとおりとします。</p>	□
3	<p>目指す方向3 学びでつながる地域づくりの項目の、3、人材育成・活用のうち学校支援人数及びボランティアセンター登録人数の指標値が「活動の充実」と抽象的となっている。一方現状値欄には具体的な人数が記載されており、何故このような記載になるのか理解ができない。指標値を案のとおり「活動の充実」とするならば、効果の判定をどのようにするのか物差しが必要だと思う。さらにこの場合は成果指標の書き方を人数から活動内容などと変える他、現状値については人数を削除し活動の充実を図ることができるものにすべきである。</p>	<p>生涯学習審議会において、『「学校支援ボランティア13,992人」と「ボランティアセンター登録人数2,222人」が現状値より増加＝生涯学習の推進につながっている』と端的に評価をするのではなく、ボランティア活動を通じて、生涯学習への気づきや学びの満足度を高め、多面にわたり評価していくことがのぞましいという、審議会での意見を取り入れたため、原案のとおりとします。</p>	□
4	<p>目指す方向3 学びでつながる地域づくりの項目の、4、コミュニティ活動欄の市民文化祭参加者数の指標値は7000人であり、総合計画で示されている指標値は27081人となっている。</p> <p>どちらの指標値が本当なんでしょうか。</p>	<p>本計画では、生涯学習の成果は、文化祭実行委員会に所属する団体の方や児童生徒作品展に出品された児童・生徒数の合算を指標値としています。</p> <p>総合計画では、文化祭のイベント全体の市民等の参加総数となっており、生涯学習推進計画で捉える数値とは異なります。</p> <p>なお、数字の根拠について注釈を追記し、誤解の無いように努めます。</p>	○

No.	意見の概要	市の考え方	区分
5	<p>4-1 団体支援に、芸術文化団体連絡協議会を支援することを事業として追加いただきたい。</p> <p>(理由) 芸術文化団体連絡協議会は市内の芸術・文化活動を行っている団体に加入いただき、芸術文化の振興に寄与することを目的としています。しかしながら加入団体数や会員数が減少しており活動の幅も徐々に狭められています。この傾向を打開し今後芸術文化活動に取組市民が多くなれば町の活性化に大きな貢献をするものと思います。</p>	<p>芸術文化団体連絡協議会は、芸術文化振興の中心的な役割を担っており、行政が事務局となって支援をしています。</p> <p>芸術文化の振興は関連事業として掲載していますが、団体の活性化により、生涯学習の推進に大きな成果が表れることを期待しています。</p>	□
6	<p>4-3 施設の整備の「公民館管理運営事業」、「図書館管理運営事業」及び「福祉センター」として、館内に Wi-Fi 環境を整備することを事業として進めてほしい。</p> <p>(理由) 今後ますますデジタル化が進みます。市民が利用する施設に施設利用者の利便性や学習環境の向上を図るため館内に無線 LAN によるインターネット接続環境を整えれば、だれもが気軽にインターネットに接することができ学習意欲も増進することが期待できます。また市の情報や各種団体のイベント開催の情報の入手が容易となり、市民が生涯学習として触れる機会が増えることが期待できます。またこの環境を整備することでデジタルデバインド対策としても有効なものになると思います。</p>	<p>生涯学習の推進をより効果的に進めていく手段として、事業者が提供する Wi-Fi スポットを各公共施設に設置しています。</p>	△
7	<p>附録 2 市内生涯学習関連施設の利用状況について</p> <p>①公民館の利用状況についての解説文章はグラフが示している動きだけを述べております。グラフを見れば簡単に分かる内容です。</p> <p>市民はなぜこのような傾向があるのかが知りたい。例えば平成 31 年度からの公民館の有料化の影響、公民館改修の影響、コロナの影響を考察しなければなりません。使用の有料化ほどの程度影響があったのかや改修の影響（平成 31 年度は公民館の分館が閉鎖した）などを分かりやすく解説し、今後の計画作りに生かしていかなければなりません。</p> <p>②公民館以外のグラフについても同様の考察をお願いしたい。</p>	<p>計画の評価については、生涯学習審議会と庁内組織である生涯学習推進本部において単年度毎に行っており、その原因や課題などを報告する機会を設けています。</p> <p>なお、有料化と新型コロナウイルスの流行時期について注釈を追記いたしました。</p>	○